

八千代市 ICT 利活用推進計画 令和 4 年度取組状況

令和 5 年 5 月



八千代市

目 次

第1章 取組項目一覧.....	1
1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上	1
2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上.....	1
3 利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立	1
取組が完了等した項目	2
第2章 取組項目の内容	3
1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上	4
2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上.....	5
3 セキュリティの強靱化と利便性の両立による安全な行政サービスの提供.....	6
資 料 編.....	7
用 語 解 説.....	8

第1章 取組項目一覧

1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上

No.	取組項目	区分
1-1	行政手続オンライン化の促進	継続
1-3	電子決済サービスの導入（キャッシュレス化）	継続

2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上

No.	取組項目	区分
2-1	AI 及び RPA の活用	継続
2-2	データ共有化の推進	継続

3 利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立

No.	取組項目	区分
3-1	情報セキュリティ監査体制等の強化	継続

取組が完了等した項目

整理番号	項目名	年度	区分
1-2	マイナンバーカードの活用推進	令和4年度	統合 (1-1)

第2章 取組項目の内容

取組項目表の見方

(例)




柱、取組み内容ごとに項目を整理し、番号を付し、
- (ハイフン) 以下は枝番を示しています。
(例)
1-1 ⇒ 1つ目の柱の1つ目の取組項目




	「調査・検討」「移行準備」など移行前の段階を示すもの
	「結果取りまとめ」など実際に移行する方向性を決定する段階を示すもの
	「移行」など総合計画実施計画への移行が完了する段階を示すもの
	上記3つの段階が繰り返行われ、「継続」して、取組を推進する必要がある状態を示すもの。

整理番号 項目名	1-1	行政手続オンライン化の促進		区分	継続		
推進内容	マイナンバーカード※を用いた公的個人認証※機能等の活用により、身分証明書の提示が必要だった手続きも含めた更なる行政手続きのオンライン化の拡充を行い、市民サービスの向上を図る。			推進年度	4年度	5年度	6年度
関係部署	情報管理課、総務課及び行政手続があるすべての部署			推進予定	 結果取りまとめ	 移行	
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「行政手続のオンライン化」への取組み	推進実績	 移行		
	課題2	○	来庁せずに申請可能となることで接触機会の削減となる				
	課題3	○	紙による申請手続きを削減できる				
取組状況	<p>令和4年7月に行政手続のオンライン化に係る方針を策定しました。また、マイナポータルと基幹システムとのオンライン接続に向けたシステムの環境整備を実施しました。</p> <p>なお、第5次総合計画 前期実施計画への移行が完了したため、当該取組は令和4年度で取組完了とします。</p> <p>※令和5年度以降は、八千代市第5次総合計画前期実施計画において取組を推進していきます。</p>						







3つの課題に対応した取組かどうかを示しています。
○ 3つの課題
1 DX 推進計画※への対応
2 「新しい生活様式」※への対応
3 保存文書の削減への対応







1 行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上

整理番号 項目名	1-1	行政手続オンライン化の促進		区分		継続
推進内容	マイナンバーカード※を用いた公的個人認証※機能等の活用により、身分証明書の提示が必要だった手続きも含めた更なる行政手続きのオンライン化の拡充を行い、市民サービスの向上を図る。	推進年度	4年度	5年度	6年度	
		推進予定	 結果取り まとめ	 移行		
関係部署	情報管理課、総務課及び行政手続があるすべての部署	推進実績	 移行			
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「行政手続のオンライン化」への取組み			
	課題2	○	来庁せずに申請可能となることで接触機会の削減となる			
	課題3	○	紙による申請手続きを削減できる			
取組状況	<p>令和4年7月に行政手続のオンライン化に係る方針を策定しました。</p> <p>また、マイナポータルと基幹システムとのオンライン接続に向けたシステムの環境整備を実施しました。</p> <p>なお、当該取組は、第5次総合計画 前期実施計画への移行が完了したため、令和4年度で取組完了とします。</p> <p>※令和5年度以降は、八千代市第5次総合計画前期実施計画において取組を推進していきます。</p>					







整理番号 項目名	1-3	電子決済サービスの提供（キャッシュレス化）		区分		継続
推進内容	各種手数料・使用料等の決済方法をキャッシュレス化し、市民サービスの向上を図る。	推進年度	4年度	5年度	6年度	
		推進予定	 結果取り まとめ	 移行		
関係部署	情報管理課及び各種手数料・使用料等を取り扱う部署	推進実績	 移行			
課題対応	課題1	×	—			
	課題2	○	窓口での現金の受け渡しがなくなることで接触機会の削減となる			
	課題3	×	—			
取組状況	<p>戸籍住民課及び納税課におけるキャッシュレス決済について、令和5年1月に運用を開始しました。</p> <p>また、令和5年10月に施設使用料等に対するキャッシュレス決済（PayPay）の導入を決定し、令和6年度中の運用開始に向けた準備を行いました。</p> <p>なお、当該取組は、第5次総合計画 前期実施計画への移行が完了したため、令和4年度で取組完了とします。</p> <p>※令和5年度以降は、八千代市第5次総合計画前期実施計画において取組を推進していきます。</p>					

2 行政事務のデジタル変革による生産性の向上

整理番号 項目名	2-1	AI及びRPAの活用		区分	継続		
推進内容	AI-OCR※やRPA※等を活用することで、今まで人の手で行っていた定型業務に充てていた作業時間の削減を図る。 その他、AI技術の活用を検討し、更なる事務の効率化を目指す。	推進年度	4年度	5年度	6年度		
		推進予定				継続	継続
関係部署	情報管理課、企画経営課及び全ての所属		推進実績				継続 継続 継続
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「AI・RPAの利用促進」への取組み				
	課題2	×	—				
	課題3	○	紙による定型作業を削減できる				
取組状況	納税課の1業務及び長寿支援課の1業務にAI-OCR及びRPAの導入を行いました。						

整理番号 項目名	2-2	データ共有化の推進		区分	継続		
推進内容	市が保有する統計データ等の共有化を推進し、施策立案への反映や業務効率化を図ります。	推進年度	4年度	5年度	6年度		
		推進予定				継続	継続
関係部署	情報管理課及び全ての所属		推進実績				継続 継続 継続
課題対応	課題1	×	—				
	課題2	×	—				
	課題3	○	既存の紙資料をデータ化・共有することで保存資料を削減できる				
取組状況	<p>庁舎移転も見据え、既存の紙資料の保管場所などの課題解決に向けた関係部署との調整・協議を行いました。</p> <p>また、各課が保有する地図情報データの共有化のため、統合型地図情報システム（GIS）※の導入に向けた関係部署との調整・協議を行いました。</p>						

3 セキュリティの強靱化と利便性の両立による安全な行政サービスの提供

整理番号 項目名	3-1	情報セキュリティ監査体制等の強化		区分			継続
推進内容	日々進歩するICT技術に対応するため、現在の情報セキュリティ監査体制や、監査手法の再検討・見直しを行う。 また、監査体制に限らず総合的に情報セキュリティの強靱化を図る。	推進年度	4年度	5年度	6年度		
		推進予定	 継続	 継続	 継続		
関係部署	情報管理課	推進実績	 継続	 継続	 継続		
課題対応	課題1	○	自治体DX重点取組事項「セキュリティ対策の徹底」への取組み				
	課題2	×	—				
	課題3	×	—				
取組状況	<p>これまでの市の内部監査に加え、本市以外の組織による外部監査について、情報を収集し、導入を検討しました。</p> <p>また、インターネット接続系システムについて、令和4年12月にシステム更改を行い、新たに仮想ブラウザの画面転送方式※を採用し、LGWAN※システム端末からインターネットを閲覧する論理分離としたことで、セキュリティ及び利便性の向上を図りました。</p> <p>さらに、千葉県と県内自治体で共同調達している千葉県自治体情報セキュリティクラウド※について、令和4年10月にシステム更改を行い、新たにCDN等を導入し、セキュリティの向上を図りました。</p>						

資料編

・用語解説

用 語 解 説

索引	用 語	説 明
ア行	R P A	「Robotic Process Automation」の略称で、入力、登録、検索、抽出等のパソコン上で行う定型作業について、人の代わりにロボットが与えられたルールに基づき代行する I T ツール。
	新しい生活様式	新型コロナウイルスを想定した、長期間にわたって感染拡大を防ぐために、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策を、これまで以上に日常生活に定着させ、持続させていくような生活様式。
	A I	「Artificial Intelligence」の略称で、大まかには「知的な機械、特に、知的なコンピュータープログラムを作る科学と技術」と説明（人工知能学会 H P）されているものの、その定義は研究者によって異なっている状況にある。
	L G W A N	「Local Government Wide Area Network（総合行政ネットワーク）」の略称で、地方公共団体の組織内ネットワーク相互に接続し、地方公共団体間のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による情報の高度利用を図ることを目的とする、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク。
	O C R	「Optical Character Recognition」の略称で、手書きや印刷された紙データを、スキャナやプリンタ等で読み取り、コンピュータが利用できるデジタル文字に変換する技術。
カ行	仮想ブラウザの画面転送方式	隔離した専用のサーバ上でブラウザ（仮想ブラウザ）を稼働させ、そのブラウザの画面イメージのみをクライアント端末へ転送する方法。
	公的個人認証	オンラインで申請や届出といった行政手続きを行う際など、他人による「なりすまし」やデータ改ざんを防ぐために用いられる本人確認の手段。「電子証明書」と呼ばれるデータを外部から読み取られるおそれのないマイナンバーカード等の I C カードに記録することで利用が可能となる

サ行	C D N	「Content Delivery Network」の略称で、インターネット上での WEB コンテンツを高速かつ効率的に配信するためのネットワーク。
	自治体デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画	「デジタル・ガバメント実行計画」における各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめた計画。(対象期間 2021 年 1 月～2026 年 3 月)
タ行	千葉県自治体情報セキュリティクラウド	各市町村が個別に設置している Web サーバ等の監視対象を千葉県と市町村が協力して集約のうえ、監視及びログ分析・解析をはじめ高度なセキュリティ対策を実施するもの。
	統合型地図情報システム (GIS)	デジタル化された地図データと位置が持つ属性情報等を組み合わせて解析・表示するシステムを地理情報システム (Geographic Information System) という。 統合型地理情報システムとは、地理情報システムを組織で統一的に利用する仕組みのこと。
マ行	マイナンバーカード	本人の申請により交付され、本人確認の際の公的な身分証明書として利用できるほか、様々な行政サービスを受けることができるようになる IC カード。氏名、住所、生年月日、性別、個人番号 (マイナンバー) などが記載され、顔写真が貼付されている。

八千代市 I C T利活用推進計画
令和 4 年度取組状況

発行日／令和 5 年 5 月

発 行／八千代市

編 集／企画部 情報政策課

住 所／〒276-8501

八千代市大和田新田312-5

T E L／047-421-6705（直通）

